

10/8 5. 7

# 首相 靖国神社に真榊奉納

## 侵略美化でも安倍・菅政治継承

岸田文雄首相は17日、東京・九段北の靖国神社で始まつた秋季例大祭に合わせ、祭員の真榊を奉納します。

→関連②面  
端国神社は戦前、軍事的

自前の参拝は見送る方針で、宗教施設として軍国主義の精神的支柱の役割を果たし、今田でも日本の侵略戦争を「正義のたたかい」だつたと美化しています。同神社への真榊奉納は憲法の定める政教分離原則に反するとして、侵略戦争美化の歴史観を肯定する行為です。

真榊奉納は安倍晋三元首相、菅義偉前首相が在任中、行ってきました。関係

者によると岸田氏の真榊奉納は初めてですが、侵略戦争美化の歴史観でも安倍・菅政治を継承することを示すものです。

岸田内閣では、後藤茂之厚生労働相、若宮健嗣内閣担当相も真榊を奉納しました。

17日には、菅前首相のほか、超党派の「みんなで靖国神社に参拝する国会議員の会」を代表して尾辻秀久会長らが参拝しました。